

## 5 環境マネジメント

### (1) 福井市環境マネジメントシステム

#### ① システムの概要

##### ◆ 環境マネジメントシステムの取組

福井市は、今後ますます悪化が予測される地球環境問題に対処するため、「福井市環境マネジメントシステム」を構築し、平成11年10月、環境管理の国際規格であるISO14001の認証を取得（審査登録）しました。

平成14年度、平成17年度の2度、審査登録機関による更新審査を受け、平成20年10月28日からは、審査登録の更新を行わない「自己宣言」へ移行しました。

##### ◆ 環境方針

福井市環境方針とは、環境管理総括者である福井市長が定めた、市の環境活動に関する声明です。以下に福井市の環境方針の要旨を挙げます。

#### 環境方針(要旨)

私たちは、先人から受け継いだこのかけがえのない自然環境を悠久の財産として、次の世代へ引き継いでいくことを重大な責務と自覚し、第五次福井市総合計画の基本目標の一つである「人と自然が共生・調和するまちづくり」を進め、市民一人ひとりが環境問題や地球温暖化問題に関心を持ち、自ら行動する「希望と安心」のまちづくりの実現を目指します。

そのため、環境マネジメントシステム“ISO14001”が環境問題の改善に極めて有効であるとの考えから、その意義を活かして、本市が行う事業の環境に及ぼす影響を的確に捉え、関連する法令を遵守しつつ、環境汚染の予防に積極的に取り組みます。また、多様な事務・事業について次の目的と目標を定め、その実現を図り、年に一度見直すことによって、継続的改善に努めていきます。

- 1 自然と共生する都市基盤の整備
- 2 環境にやさしい事務・事業の取り組み
- 3 エネルギーと資源の節約
- 4 廃棄物の減量とリサイクルの推進
- 5 地球環境保全の啓発

未来のために地球環境を考える、それはとても価値あることと確信します。

##### ◆ 適用範囲

(平成22年4月1日現在)

福井市環境マネジメントシステムは、以下の事務部局において適用されます。

- ・ 市長事務部局
- ・ 企業局事務部局
- ・ 教育委員会事務部局（小・中学校、幼稚園、公民館は除く）
- ・ 監査事務部局
- ・ 農業委員会事務部局
- ・ 議会事務部局
- ・ 消防事務部局

## ② 環境目的・目標の結果

平成 22 年度は、次の 48 の環境目標を設定し、全庁的に環境マネジメントシステムに取り組みました。数値目標が設定されていた 20 項目中 16 項目が目標を達成しております。

詳細については次表のとおりです。

|   |           |     |       |
|---|-----------|-----|-------|
| ○ | 数値目標達成    | ・・・ | 16 項目 |
| × | 数値目標未達成   | ・・・ | 4 項目  |
| — | 数値目標がない項目 | ・・・ | 28 項目 |

### 1 自然と共生する都市基盤の整備

| 目標<br>(主管課)                           | 平成 22 年度の結果   | 平成 21 年度の結果   | 前年度比               | 評価 |
|---------------------------------------|---|---|--------------------|----|
| 温室効果ガス排出量を前年度比 4%以上削減する<br>(環境課)      | 【温室効果ガス排出量】<br>63,843(t-CO <sub>2</sub> )                             | 【温室効果ガス排出量】<br>59,095(t-CO <sub>2</sub> )                             | 8.0%増              | ×  |
| 汚水処理施設の人口普及率を 88.2%にする<br>(下水管理課)     | 【汚水処理施設の人口普及率】<br>89.7%   | 【汚水処理施設の人口普及率】<br>87.1%   | 2.6 ポイント増          | ○  |
| 住宅用太陽光発電施設の設置容量を 5,200kW にする<br>(環境課) | 【設置容量】<br>設置容量：約 5,400 kW<br>※ 福井市内に設置されている太陽光発電施設の出力の合計（北陸電力よりデータ提供） | 【設置容量】<br>設置容量：約 4,200 kW<br>※ 福井市内に設置されている太陽光発電施設の出力の合計（北陸電力よりデータ提供） | 約 1,200 kW 増       | ○  |
| 住宅用太陽光発電設備の助成を 200件に行う<br>(環境課)       | 【補助件数】<br>補助件数：276 件  | 【補助件数】<br>補助件数：195 件  | 81 件増              | ○  |
| 公共施設への太陽光発電等新エネルギー設備の導入を推進する<br>(環境課) | 【モデル事業】<br>越廼中学校に 20 kW 設置<br>市体育館に 10 kW 設置                          | 【モデル事業】<br>木田公民館に 5 kW 設置<br>清水東公民館に 5 kW 設置                          | —                  | —  |
| 公用車の低公害車導入を推進する<br>(環境課)              | 【公用車への低公害車導入台数】<br>なし   | 【公用車への低公害車導入台数】<br>・ 天然ガス自動車 1 台<br>・ ハイブリッド車(トラック)2 台                | —                  | —  |
| 都市公園の整備と緑化を推進する(公園課)                  | 【公園数】 341 箇所<br>【公園面積】 340.85ha                                       | 【公園数】 329 箇所<br>【公園面積】 340.42ha                                       | 12 箇所増<br>0.43ha 増 | —  |

2 環境にやさしい事務・事業の取り組み

| 目標<br>(主管課)   | 平成 22 年度の結果                                 | 平成 21 年度の結果   | 前年度比      | 評価 |
|---|---|---|-----------|----|
| コピー用紙使用量を前年度以下にする<br>(全課)   | 【コピー用紙使用量】<br>18,022 千枚                     | 【コピー用紙使用量】<br>18,988 千枚                                       | 5.1%減     | ○  |
| 環境に配慮した紙の使用を推進する<br>(全課)  | 【コピー用紙の再生紙使用率】<br>100%                      | 【コピー用紙再生紙使用率】<br>100%   | 増減なし      | —  |
|   | 【発注印刷物の再生紙使用率】<br>94.5%                     | 【発注印刷物の再生紙使用率】<br>94.8%                                       | 0.3 ポイント減 |    |
| 環境物品の購入を推進する<br>(全課)  | 【環境物品購入率】<br>※ 平成 22 年度より財務システム変更により集計できない。 | 【環境物品購入率】<br>76.4%<br>・ 環境物品購入額 68,892 千円<br>・ 総購入額 90,126 千円 | —         | —  |
| アスファルトの再生材使用を 95% 以上にする<br>(関係課)  | 【アスファルト再生材使用率】<br>97.4%                     | 【アスファルト再生材使用率】<br>96.2%                                       | 1.2 ポイント増 | ○  |
| 砕石の再生材使用を 70% 以上にする<br>(関係課)  | 【砕石再生材使用率】<br>70.9%                         | 【砕石再生材使用率】<br>73.9%   | 3 ポイント減   | ○  |
| リサイクル製品のうち、コンクリート二次製品について、予定数量の 30% 以上の使用を目指す<br>その他リサイクル製品についても、積極的な活用を図る<br>(関係課) | 【コンクリート二次製品使用率】<br>97.1%                    | 【コンクリート二次製品使用率】<br>96.8%                                      | 0.3 ポイント増 | ○  |
| 排出ガス対策型建設機械の使用を推進する<br>(関係課)  | 【排出ガス対策型建設機械使用率】<br>99.7%                   | 【排出ガス対策型建設機械使用率】<br>99.7%                                     | 増減なし      | —  |

3 エネルギーと資源の節約

| 目 標<br>(主管課)                       | 平成 22 年度の結果  | 平成 21 年度の結果  | 前年度比   | 評価 |
|------------------------------------|--|--|--------|----|
| 市役所のエネルギー使用量を前年度比1%以上削減する<br>(環境課) | 【市役所のエネルギー量】<br>19,643 (kL)<br>※原油換算値                      | 【市役所のエネルギー量】<br>20,360(kL)<br>※原油換算値                       | 3.5%減  | ○  |
| 電気の使用量の削減に努める<br>(全課)              | 【電気使用量】<br>65,017,559 (kWh)                                | 【電気使用量】<br>68,049,053 (kWh)                                | 4.5%減  | —  |
| 都市ガス使用量の削減に努める<br>(関係課)            | 【都市ガス使用量】<br>1,245,664 (m <sup>3</sup> )<br>(天然ガス車の使用量を含む) | 【都市ガス使用量】<br>1,171,692 (m <sup>3</sup> )<br>(天然ガス車の使用量を含む) | 6.3%増  | —  |
| LP ガス使用量の削減に努める<br>(関係課)           | 【LP ガス使用量】<br>177,255 (kg)                                 | 【LP ガス使用量】<br>209,521 (kg)                                 | 15.4%減 | —  |
| 水道水の使用量の削減に努める<br>(全課)             | 【水道使用量】<br>1,140,100 (m <sup>3</sup> )                     | 【水道使用量】<br>1,349,489 (m <sup>3</sup> )                     | 15.5%減 | —  |
| ガソリンの使用量の削減に努める<br>(関係課)           | 【ガソリン使用量】<br>201.6 (m <sup>3</sup> )                       | 【ガソリン使用量】<br>191.0 (m <sup>3</sup> )                       | 5.5%増  | —  |
|                                    | 【公用自転車利用】<br>のべ2,116人                                      | 【公用自転車利用】<br>のべ2,772人                                      | 656人減  |    |
|                                    | 【公共交通機関利用】<br>のべ347人                                       | 【公共交通機関利用】<br>のべ310人                                       | 37人増   |    |
| 軽油の使用量の削減に努める<br>(関係課)             | 【軽油使用量】<br>139.3 (m <sup>3</sup> )                         | 【軽油使用量】<br>155.0 (m <sup>3</sup> )                         | 10.3%減 | —  |
| A 重油の使用量の削減に努める<br>(関係課)           | 【A 重油使用量】<br>429.7 (m <sup>3</sup> )                       | 【A 重油使用量】<br>488.3 (m <sup>3</sup> )                       | 12.0%減 | —  |
| 灯油の使用量の削減に努める<br>(関係課)             | 【灯油使用量】<br>600.3 (m <sup>3</sup> )                         | 【灯油使用量】<br>601.3 (m <sup>3</sup> )                         | 0.2%減  | —  |

※ 指定管理者が管理する施設を除く

4 廃棄物の減量とリサイクルの推進

| 目標<br>(主管課)   | 平成 22 年度の結果   | 平成 21 年度の結果   | 前年度比  | 評価 |
|---|---|---|---|----|
| 市有施設からの<br>容器包装リサイ<br>クルを含む、ごみ<br>の分別及び資源<br>化を推進する<br><br>(全課) | 【資源化量】<br>上質紙 31.5t<br>ダンボール・紙製容器包装 16.9t<br>プラスチック製容器包装 1.1t<br>シュレッダーごみ 13.7t<br>機密文書 23.6t<br>計 86.8 t                         | 【資源化量】<br>上質紙 32.9t<br>ダンボール・紙製容器包装 8.0t<br>プラスチック製容器包装 1.3t<br>シュレッダーごみ 13.2t<br>機密文書 29.5t<br>計 84.9 t                          | 1.4 t 減<br>8.9 t 増<br>0.2 t 減<br>0.5 t 増<br>5.9 t 減 | —  |
| 市有施設の食品<br>リサイクルを推<br>進する<br><br>(関係課)                          | 【リサイクル量】<br>260.9 t   | 【リサイクル量】<br>293.8 t   | 32.9 t 減  | —  |
| 市有施設の廃食<br>油リサイクルを<br>推進する<br><br>(保健給食課)                       | 【リサイクル量】<br>10.9 t  | 【リサイクル量】<br>10.7 t  | 0.2 t 増   | —  |
| 市民への容器包<br>装リサイクル、ご<br>みの分別と生ご<br>み資源化を推<br>進する<br><br>(清掃清美課)  | 容器包装リサイクルに基づく、<br>分別方法等の学習会の実施。<br><br>計 54 回開催   | 容器包装リサイクルに基づく、<br>分別方法等の学習会の実施。<br><br>計 60 回開催   | —   | —  |
| 資源回収拠点<br>拡大事業を推<br>進する<br><br>(清掃清美課)                          | 【プラスチック製容器包装回収量】<br>33.6 t<br><br><資源回収拠点> 7 箇所<br>・ ハーツ羽水店・学園店<br>・ Aコープやしろ店・堀ノ宮店<br>・ ハニー麻生津店<br>・ アル・プラザ ベル店<br>・ くみあいマーケット東郷店 | 【プラスチック製容器包装回収量】<br>32.2 t<br><br><資源回収拠点> 7 箇所<br>・ ハーツ羽水店・学園店<br>・ Aコープやしろ店・堀ノ宮店<br>・ ハニー麻生津店<br>・ アル・プラザ ベル店<br>・ くみあいマーケット東郷店 | 1.4 t 増   | —  |
| アスファルト・コ<br>ンクリート塊の<br>再生資源化率<br>100%を維持す<br>る<br><br>(関係課)     | 【再資源化率】<br>100%   | 【再資源化率】<br>100%   | 100%維持  | ○  |
| コンクリート塊<br>の再生資源化<br>率100%を維持<br>する<br><br>(関係課)                | 【再資源化率】<br>100%   | 【再資源化率】<br>100%   | 100%維持  | ○  |
| 建設汚泥の再資<br>源化・縮減率を<br>80%以上にす<br>る<br><br>(関係課)                 | 【再資源化・縮減率】<br>98.6%   | 【再資源化・縮減率】<br>84.6%   | 14 ポイン<br>ト増  | ○  |
| 建設発生土の有<br>効利用率を 90<br>%以上にす<br>る<br><br>(関係課)                  | 【有効利用率】<br>89.2%  | 【有効利用率】<br>87.9%  | 1.3 ポイン<br>ト増                                       | ×  |
| 建設発生木材の<br>再資源化・縮減<br>率を 95%以上<br>にする<br><br>(関係課)              | 【再資源化・縮減率】<br>99.3%   | 【再資源化・縮減率】<br>94.8%   | 4.5 ポイン<br>ト増                                       | ○  |

5 地球環境保全啓発

| 目標<br>(主管課)  | 平成 22 年度の結果  | 平成 21 年度の結果   | 前年度比   | 評価 |
|--|--|---|--------|----|
| 福井市環境パートナーシップ会議を通じた環境保全活動を推進する<br>(環境課)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体会(6)</li> <li>・ 暮らしと環境を考えるセミナー(3)</li> <li>・ 身近な環境セミナー(6)</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体会(5)</li> <li>・ 暮らしと環境を考えるセミナー(3)</li> <li>・ 身近な環境セミナー(6)</li> </ul>   | —      | —  |
| 新エネルギー・省エネルギーの啓発を推進する<br>(環境課)   | イベント等での新エネルギー啓発等のパネル展示   | イベント等での新エネルギー啓発等のパネル展示  | —      | —  |
| 全公民館で環境ミニ講座を 15 公民館で開催する<br>(環境課)  | 17 公民館開催   | 19 公民館開催  | 2 公民館減 | ○  |
| 市立幼稚園・小学校・中学校における学校版環境 ISO を全校で引き続き推進する<br>(環境課)   | 市内全 68 校が取り組んでいる。  | 市内全 68 校が取り組んでいる。   | —      | —  |
| 保育園児・保護者への環境教育を推進する<br>(保育課)   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ イベントの際には、お皿・スプーンなど各自で持ってきてもらった。</li> <li>・ 運動会では、マイバッグを持参してもらい、保護者にもゴミの持ち帰りの協力を図った。</li> <li>・ 園児、保護者を含めてゴーヤ栽培を行った。</li> <li>・ ワケルンジャーを呼び、ゴミの分別など指導した。</li> </ul> など 86 件 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ イベント時には、徒歩・自転車・自動車は相乗りの協力をお願いし、ゴミは持ち帰ってもらった。</li> <li>・ 運動会で、ゴミ分別ゲームを実施し、保護者の意識も高めた。</li> <li>・ 紙芝居を通して、身近なところから出来る事を伝えた。</li> </ul> など 84 件 | —      | —  |
| 環境保全活動に取り組む中小企業を支援するため、「社会貢献サポート資金制度」、「省エネ等転換促進補助事業」及び「省エネ等転換促進資金事業」の活用を促進する<br>(マーケット戦略室) | <b>【制度利用件数】</b><br>社会貢献サポート制度 2 件<br>省エネ等転換促進補助事業 3 件<br>省エネ等転換促進資金事業 2 件  | <b>【制度利用件数】</b><br>社会貢献サポート制度 4 件<br>省エネ等転換促進補助事業 6 件<br>省エネ等転換促進資金事業 0 件   | —      | —  |
| 環境マネジメントシステム認証取得企業数を 200 社にする<br>(環境課)   | 216 社  | 211 社   | 5 社増   | ○  |

| 目標<br>(主管課)                             | 平成 22 年度の結果  | 平成 21 年度の結果  | 前年度比       | 評価 |
|---|--|--|------------|----|
| 市民の買物袋持参率を 80% 以上にする<br>(環境課)           | 買物袋持参率 89.9%   | 買物袋持参率 90.5%   | 0.6 ポイント減  | ○  |
| 公共交通機関の利用を推進する<br>(交通政策室)               | カーセーブデー実施率<br>32.7%  | カーセーブデー実施率<br>54.4%  | 21.7 ポイント減 | —  |
| 通勤手段等の転換に関する事業所への提案を 100 件行う<br>(交通政策室) | 通勤手段等の転換に関する事業所への提案(プラン作成) : 68 件  |  | —          | ×  |
| アイドリングストップ運動を推進する<br>(環境課)              | 環境ミニ講座において、市民に啓発した。  | 環境ミニ講座において、市民に啓発した。  | —          | —  |
| みどりのカーテン講習会参加数を 500 名にする<br>(環境課)       | 412 名  |  | —          | ×  |
| 環境ボランティア活動を推進する<br>(環境課)                | 6/12 福井を美しくする会連絡協議会ほか 5 団体とともに実施<br><清掃区域><br>JR 福井駅前及び歴史のみち周辺<br><br><参加者><br>市職員 275 名<br>その他 152 名<br>計 427 名 | 9/26 福井を美しくする会連絡協議会ほか 4 団体とともに実施<br><清掃区域><br>JR 福井駅前及び歴史のみち周辺<br><br><参加者><br>市職員 282 名<br>その他 119 名<br>計 401 名 | 26 人増      | —  |
| 家庭版環境 ISO 参加世帯数を 10,000 世帯にする<br>(環境課)  | 平成 23 年 3 月末現在<br><br>参加世帯数累計<br>10,053 世帯   | 平成 22 年 3 月末現在<br><br>参加世帯数累計<br>8,933 世帯  | 1,120 世帯増  | ○  |
| イベント開催時の環境配慮を推進する<br>(関係課)              | 47 件実施   | 43 件実施   | 4 件増       | —  |

### ③ 温室効果ガス排出量の調査結果

総排出量

| 年度                          | H11    | H12    | H13    | H14    | H15    | H16    | H17    | H18    | H19    | H20    | H21    | H22    |
|-----------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 排出量<br>(t-CO <sub>2</sub> ) | 70,953 | 67,459 | 65,396 | 61,689 | 59,277 | 61,121 | 69,864 | 73,096 | 80,928 | 71,723 | 59,095 | 63,843 |

※平成 21 年度比：8.0%増

(注) 平成 17 年度以降の値は、美山地区、越廼地区、清水地区を含む。

(注) 電気の温室効果ガス排出係数は、北陸電力の公表値(平成 17 年度 0.407、平成 18 年度 0.457、平成 19 年度 0.632、平成 20 年度 0.550、平成 21 年度 0.374、平成 22 年度 0.420)を使用

### ④ 電気、ガス、水道、燃料の使用量及び金額

(ア) 使用量

| 年度                         | H11     | H12     | H13    | H14    | H15    | H16    | H17<br>(合併) | H18    | H19    | H20    | H21    | H22    |
|----------------------------|---------|---------|--------|--------|--------|--------|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 電気<br>(千kWh)               | 64,433  | 64,056  | 64,528 | 66,149 | 63,807 | 64,908 | 65,596      | 71,934 | 69,697 | 66,619 | 68,049 | 65,018 |
| 都市ガス<br>(千m <sup>3</sup> ) | 2,141   | 2,127   | 2,084  | 1,488  | 1,076  | 1,089  | 1,101       | 1,008  | 1,170  | 1,113  | 1,172  | 1,246  |
| LPガス(t)                    | 2,076   | 2,097   | 2,155  | 1,319  | 438    | 170    | 211         | 207    | 225    | 219    | 210    | 177    |
| 水道(千m <sup>3</sup> )       | 1,472   | 1,473   | 1,397  | 1,399  | 1,178  | 1,194  | 1,357       | 1,248  | 1,372  | 1,311  | 1,349  | 1,140  |
| ガソリン(m <sup>3</sup> )      | 154.2   | 156.4   | 144.8  | 156.6  | 145.2  | 145.7  | 216.6       | 214.2  | 203.9  | 190.3  | 191.0  | 201.6  |
| 軽油 (m <sup>3</sup> )       | 143.9   | 155.5   | 153.0  | 144.6  | 143.5  | 143.3  | 176.3       | 164.0  | 157.4  | 151.8  | 155.0  | 139.3  |
| A重油 (m <sup>3</sup> )      | 1,225.8 | 1,028.9 | 830.0  | 639.0  | 635.2  | 602.2  | 844.8       | 790.9  | 664.5  | 543.5  | 488.3  | 429.7  |
| 灯油 (m <sup>3</sup> )       | 746.4   | 649.9   | 778.1  | 770.4  | 731.9  | 792.6  | 927.2       | 931.2  | 676.6  | 550.9  | 601.3  | 600.3  |

(注) 平成 17 年度以降の値は、美山地区、越廼地区、清水地区を含む。

(イ) 金額 (百万円)

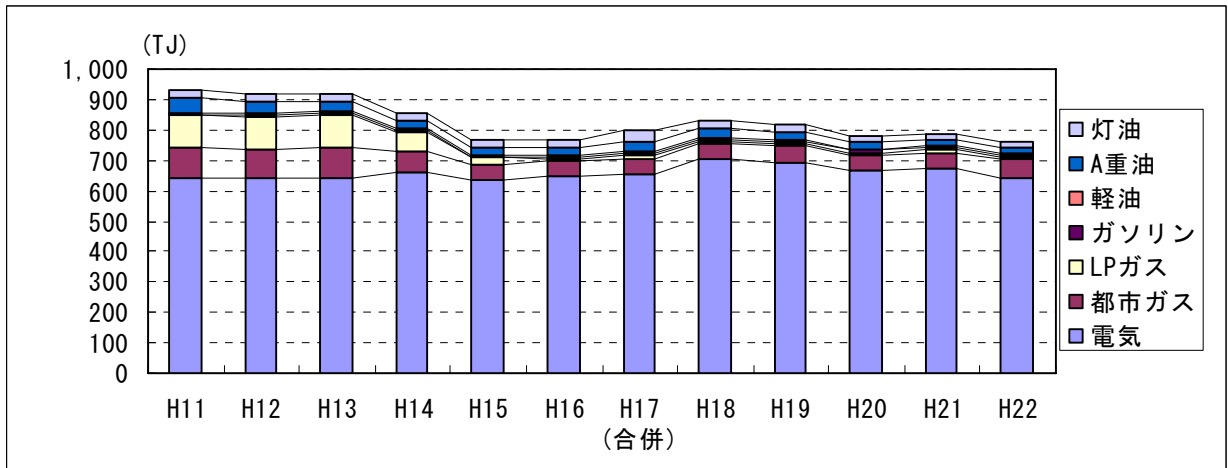
| 年度   | H11   | H12   | H13   | H14   | H15   | H16   | H17<br>(合併) | H18   | H19   | H20   | H21   | H22   |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 電気   | 1,076 | 1,090 | 1,087 | 1,046 | 993   | 1,007 | 1,054       | 1,165 | 1,101 | 1,133 | 1,134 | 1,078 |
| ガス   | 156   | 157   | 152   | 159   | 164   | 205   | 220         | 225   | 241   | 230   | 217   | 240   |
| 水道   | 306   | 305   | 296   | 284   | 280   | 285   | 305         | 223   | 204   | 205   | 232   | 208   |
| ガソリン | 15    | 15    | 14    | 15    | 14    | 15    | 25          | 29    | 27    | 27    | 23    | 26    |
| 軽油   | 12    | 13    | 12    | 11    | 12    | 12    | 18          | 18    | 17    | 17    | 14    | 15    |
| A重油  | 54    | 45    | 37    | 28    | 29    | 31    | 53          | 58    | 54    | 48    | 31    | 23    |
| 灯油   | 35    | 31    | 37    | 35    | 34    | 42    | 54          | 74    | 67    | 46    | 44    | 54    |
| 総費用  | 1,653 | 1,657 | 1,636 | 1,578 | 1,526 | 1,597 | 1,727       | 1,792 | 1,712 | 1,705 | 1,695 | 1,643 |

(注) 平成 17 年度以降の値は、美山地区、越廼地区、清水地区を含む。

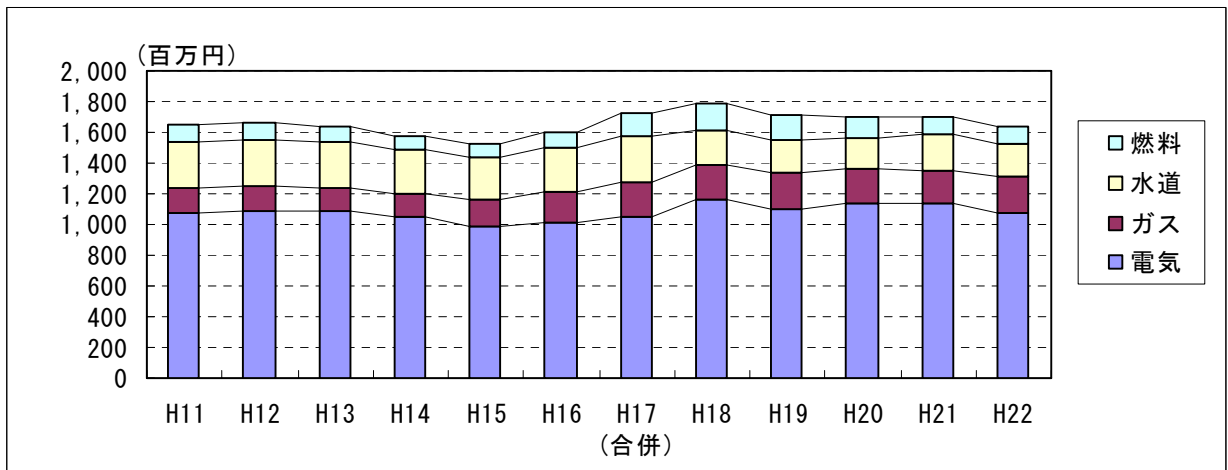


⑤ グラフ

電気、ガス、水道、燃料の使用量（熱量ベース）



電気、ガス、水道、燃料の金額



【備考】温室効果ガス排出量に影響を及ぼす出来事

- ・平成11年10月 聖苑開所
- ・平成12年 7月 防災ステーション開所
- ・平成14年 4月 都市ガスの天然ガス転換
- ・平成15年11月 都市ガスの天然ガス転換完了
- ・平成16年 3月 郷土歴史博物館移転（新設）
- ・平成16年 7月 福井豪雨災害
- ・平成17年10月 国民宿舎の管理が指定管理者へ移行
- ・平成18年 2月 市町村合併
- ・平成18年 4月 フェニックスプラザ、文化会館が指定管理者へ移行
- ・平成19年 4月 聖苑の管理が指定管理者へ移行
- ・平成19年10月 みらくる亭の管理が指定管理者へ移行
- ・平成20年 4月 伊自良館、楽しく亭が指定管理者へ移行